



京都大学

第21回

市民防災講座－災害リスクを考える－ 地震・津波災害に備える

参加無料

【日 時】2019年 **12** 月 **1** 日 (日) 13:00～16:45

【場 所】J R九州ホール (J R博多シティ9F) 博多駅直結

司 会 京都大学大学院 工学研究科 助 教 保田 尚俊

主催者挨拶

京都大学大学院 工学研究科

教 授 杉山 友康

講 演

● スパコンを使った地震・津波被害予測と V Rを使った仮想避難体験

九州大学大学院 工学研究院

准教授 浅井 光輝

● 豪雨や地震で起こる土砂災害と命の守り方

山口大学大学院 創成科学研究科

教 授 鈴木 素之

● 鉄道乗車中、津波から避難するには

和歌山大学 地域活性化総合センター

准教授 西川 一弘

事例紹介

● 福岡県西方沖地震、熊本地震の教訓から地震に備える

福岡市 市民局 防災・危機管理課

防災・危機管理係長 橋津 千穂

● 平成28年熊本地震からの復旧に向けたJ R九州の取り組み

九州旅客鉄道株式会社

鉄道事業本部 施設部長 吉野 敏成

● J R西日本の地震対策の取り組み

西日本旅客鉄道株式会社

鉄道本部 施設部長 金岡 裕之



玄界島の被害



中央区天神の建物の被害

資料提供: 福岡市

※講演内容は変更となる場合があります

【定 員】 250名 (先着順・要事前申込)

【申込方法】 参加希望の方は、下記URL、FacebookもしくはQRコードよりホームページにアクセスして登録していただくか、必要事項を記載のうえメールまたはFAX (裏面参照) でお申込ください。

必要事項 ①代表者氏名 ②電話番号/FAX番号 (FAX申込の場合) ③住所

④職業 (会社員(会社名) / 公務員 / 学生 / その他)

⑤記事欄 (2名以上同時にお申込される場合、代表者以外の氏名、その他要望事項)

※参加申込でいただいた個人情報は、当市民防災講座の運営及び当講座からのお知らせ以外の目的には使用しません。

ホームページURL <<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/lab/>>

メール: info@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp FAX: 075-383-3410

Facebook: 京都大学 災害リスクマネジメント工学-JR西日本-講座

【申込締切】 11月28日 (木)

【問合せ先】 京都大学災害リスクマネジメント工学 (J R西日本) 講座

T E L : 075-383-3114 (平日 9時～16時)



主催: 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学 (JR西日本) 講座

後援: 福岡県/福岡市/公益社団法人地盤工学会九州支部/公益社団法人土木学会西部支部/

西日本新聞社/九州旅客鉄道株式会社/九州大学大学院工学研究院 社会基盤部門・環境都市部門

協賛: 西日本旅客鉄道株式会社



京都大学第 21 回市民防災講座

— 災害リスクを考える — 12月 1 日 (日)

京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座では、JR西日本からの寄附により、自然災害に対する鉄道や道路などの社会基盤設備の総合的管理技術、交通規制といったソフト対策技術の研究を進めています。あわせて市民の皆様の防災に対する意識の向上と、避難時の行動や住民同士の協力の重要性を理解していただくことを目的に市民防災講座を企画しました。

講演

● スパコンを使った地震・津波被害予測と VRを使った仮想避難体験

九州大学大学院 工学研究院 准教授 浅井 光輝

「地震予知はできない」、東日本大震災・熊本地震等を受け、地震防災の考え方を根本的に見直すことになりました。自然が相手なので、予知は確かに厳しいものです。ただし、想定された地震・津波に対する被害をスパコン等で予測する試みは継続しています。その研究の最前線の話と、最先端の計算を使ったVRを使った仮想避難体験システムについて紹介します。

● 豪雨や地震で起こる土砂災害と命の守り方

山口大学大学院 創成科学研究科 教授 鈴木 素之

がけ崩れや土石流は豪雨中や地震の後に発生することが多い。火山灰が堆積した地盤が多い九州地方では土砂災害は特に多い。本講演では最近の事例をもとに、土砂災害の発生傾向と特徴、命の守り方についてお話しします。

● 鉄道乗車中、津波から避難するには

和歌山大学 地域活性化総合センター

准教授 西川 一弘

鉄道乗車中に地震が発生した場合、迅速な津波避難のためには乗務員の力量形成だけではなく、乗客の主体的な避難力も求められます。避難に必要な視点や取り組み、新しい方法についてもご紹介します。

事例紹介

● 福岡県西方沖地震、熊本地震の教訓から地震に備える

福岡市 市民局 防災・危機管理課

防災・危機管理係長 橋津 千穂

平成17年3月「福岡県西方沖地震」での被災、平成28年4月「熊本地震」での被災地支援と、2度の地震経験から得た教訓をもとに、今後、発生が懸念される警固断層を震源とする大規模地震に備えた福岡市の取り組みを紹介します。

● 平成28年熊本地震からの復旧に向けた JR九州の取り組み

九州旅客鉄道株式会社

鉄道事業本部 施設部長 吉野 敏成

平成28年4月に発生した熊本地震により、JR九州では新幹線・在来線において甚大な被害を受けました。今回は、地震による鉄道の被災概要及び復旧に向けた様々な取り組みの状況についてご紹介します。

● JR西日本の地震対策の取り組み

西日本旅客鉄道株式会社

鉄道本部 施設部長 金岡 裕之

JR西日本では阪神・淡路大震災以降、ラーメン高架橋や駅などの耐震補強対策や、地震計による観測体制強化などの対策を順次進めてきました。今回は、これまで実施してきた地震対策や、今後発生が予想される南海トラフ地震に備えた対策も含めたそれらの取り組みについて紹介します。

地震・津波災害に備える

会場 JR九州ホール 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1 (博多駅直結 JR博多シティ9F) ※駐車場はございません

FAX 申し 込み 用	①代表者 氏名	(フリガナ) (氏名)	②電話番号 FAX番号	(電話) (FAX)	
	③住 所	〒 ー 都道府県 市区町村			
	④職 業	該当する職業を○で囲んでください。 1.会社員 (会社名:) 2.公務員 3.学生 4.その他 ()			
	⑤記事欄	2名以上同時にお申し込みの場合は、こちらに氏名、フリガナ、職業をご記入ください。			

※参加申込でいただいた個人情報は、当市民防災講座の運営及び当講座からのお知らせ以外の目的には使用しません。

FAX : 075-383-3410